

バローお子さまランチコンテスト

決勝進出の20組決まる



レシピを審査する審査員たち
＝岐阜市太郎丸、岐阜女子大

小学生が2人一組でランチや弁当のアイデア、調理技術を競う「第12回バローお子さまランチコンテスト」(岐阜新聞社、岐阜放

送主催、バロー特別協賛)の書類審査が25日、岐阜市太郎丸の岐阜女子大であり、決勝に進む20組が決まった。

食への知識を深め、健全な食生活を実践してもらおうと開催。県内外の121組242人から応募があった。

審査委員長を務める料理人の森野熊八さんをはじめ、バロー販売促進部の小野浩一郎長代理、同大健康栄養学科の水野幸子教授ら5人が、写真やイラストが添えられたレシピを審査。発想の子どもらしさ、季節感、県産食材の取り入れ方、味のバランスを評価した。決勝大会は8月25日に同大であり、大会の様子は9月22日午後6時から、ぎふチャンテレビで放送する。